



風がほとんど吹かず暑い日になりました。歩き始めて池の方を見ていたらミサゴがカラスに追われて北の方に飛んで行くところでした。ツクツクボウシの声は弱くなり、コオロギの仲間の声が高く、シジュウカラの群が時々姿を現しました。今回は6日(土)と10日(水)に出会った生きものについての記録です。



アキノノゲシ

クリーム色のきれいな花を咲かせ 1 葎以上になります。レタスと同じ仲間、葉を切ると白い液が出ます。



ワレモコウ

穂状に小さな花がたくさん集まって咲きます。赤く見えるのは花びらではなく萼だそうです。



クルマバツタ

草むらから飛び立つトノサマバツタに次ぐ大柄なバツタです。後ろ羽根に車状の模様があります。



クズ

大きな葉で蔓を伸ばして木にも登り、屋根をかけたように広がっているのをよく見かけます。そのようなところからは甘い香りが漂ってきます。



ナガコガネグモ

側溝などによく巣をかけます。巣の中心でクモの上下方向に白い帯状の糸をかける習性があります。指で黄色い体に触ると足を踏ん張りながら体をゆさゆさと前後に揺らします。



キタテハ ヒヨドリバナ

に蝶やハナムグリなどが蜜を吸いにやってきました。キタテハが蜜を吸おうと止まったら自分の重みで茎が倒れかかってきたので落ちないように踏ん張っているようです。



イヌコウジュ

においの薄いヒメジソに比べ、人によっては臭く感じる強い香りがあります。近寄って見てください。可憐な花です。



イタドリ

これは雄花なので小さな花を見ると雄しべが分かります。雌花は別の株です。この花はやや赤みがかっているのでベニイタドリと呼びます。



リョウブ

落葉広葉樹。サルスベリのように樹皮が薄くはげ落ち、茶褐色と灰褐色のまだら模様になります。7月頃白い花を咲かせます。



ツノトンボ類の卵

アリ地獄と同じアミメカゲロ

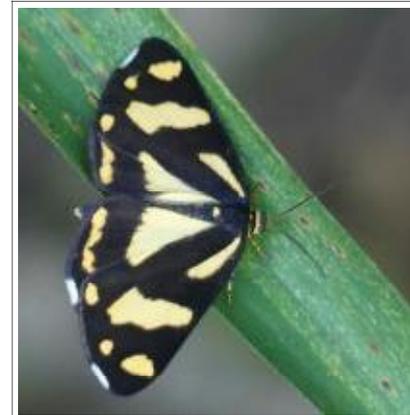


ウの仲間の卵です。2列にきれいに並べて産み付けてありました。



ミツバアケビ実

実の大きさは5割以上あると思います。3月～4月に花を咲かせました。熟すと縦に割れて白く甘い実に含まれた黒い種が現れます。



キンモンガ

昼間に活動する蛾で蝶のように見えます。幼虫はリョウブの葉を食べます。



ノコギリクワガタ死骸

硬い頭と胸を残し鳥に居場所を気付かれて食べられたのでしょうか。固いところが残り、地面に落ちていました。



上:ヒメハラナガツチバチ雄
下:キンケハラナガツチバチ雌



体長に比べ腹が長い「ハラナガツチバチ」はコガネムシの幼虫に産卵し、その幼虫を食べて育ちます。触角が長いのが雄で短いのが雌です。雌のやや太めの短い触角に探索能力の秘密が隠されているのでしょうか。